

プレスリリース (仮訳)

監査監督機関国際フォーラム会合
2010年3月22-24日 於アブダビ

2010年3月22日から24日に、30ヶ国・地域の独立監査監督機関が、監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の第7回会合に参加した。IFIARメンバーの詳細については、IFIARのウェブサイトwww.ifiar.orgを参照されたい。2009年9月にシンガポールで開催された前回のIFIAR会合以降、ギリシャ会計監査監督委員会が参加している。本会合は、アブダビ会計説明責任庁 (ADAA) の主催により行われた。

本会合では、IFIAR 議長スティーブン・マイヨール蘭金融市場庁 (AFM) 事務局長及び IFIAR 副議長ポール・ジョージ英財務報告評議会 (FRC) 検査局長が議長を務めた。

証券監督者国際機構 (IOSCO)、バーゼル銀行監督委員会 (BCBS)、保険監督者国際機構 (IAIS)、公益監視委員会 (PIOB)、世界銀行及び欧州委員会 (EC) の代表もオブザーバーとして参加した。国際会計士連盟 (IFAC) 改革のモニタリンググループによる評価の議論も行われた。

IFIAR 活動計画

IFIAR 事務局より IFIAR 活動計画が提示され加盟国に承認された。活動計画は2011年4月の全体会合までを対象としている。主な活動には国際的な監査ネットワークとの対話の継続、検査ワークショップの開催、投資家との対話、監査監督当局間の国際協力、国際基準設定機関との関与が含まれている。

会合の一部において、BDO、デロイト・トウシュ・トーマツ、アーンスト・アンド・ヤング、グラント・ソントン、KPMG及びプライスウォーターハウスクーパーズの国際ネットワークの上部の役職者が参加し、監査検査官から寄せられた一般的な論点、それらの原因および各ネットワークにおいて行われている対処について議論を行った。論点にはグループ監査、公正価値測定を中心とした監査人における懐疑心の役割、収益認識、品質管理レビューワーの役割があった。IFIARが継続して行っている個別ネットワークとの会合として、アーンスト・アンド・ヤングと監査規制及び監査品質に関するグローバル構造の展開について議論した。

監査に関する検査は IFIAR が焦点を当てる中核分野である。IFIAR は参加国のための第4回検査ワークショップを2010年2月9日から12日にパリで開催した。ワークショップは、検査の技術及び経験を共有する機会を引き続き

提供する。パリでの検査ワークショップはこれまでのワークショップと同様の構成に加え、新規 IFIAR 参加国及び IFIAR 参加国で検査手続の発展途上にあるメンバー向けに、検査の流れ及び手続に関する半日の導入ワークショップを行った。更に、検査手続とグローバルな金融市場の情勢に関する共通要素について議論を行った。具体的な論点として、監査証拠と文書化、ISA の実施、検査結果報告書について、分科会セッションで議論した。次回検査ワークショップは米国公開会社会計監視委員会（PCAOB）の主催により、2011 年初頭にワシントンにおいて行われる。

将来の全体会合の形式、IFIAR の活動の公開報告書の作成、監査監督のグッド・プラクティス或いはコア・プリンシプルにおける作業の今後数ヶ月にわたる更なる検討の提案について議論がなされた。国際協力の分野では、参加国の情報交換やグローバル監査法人の監督に関する協力のための方策について研究することに合意した。また、参加国が監査品質に関連する国際基準設定機関の業務により強く関与することも合意された。

IFIAR フェライン

IFIAR 参加国はシンガポールにおいて、分担金の徴収及び支払のため法人を設置するとの原則について合意した。設立会合において法人の定款が採択され、スイス法における法人である IFIAR フェラインが正式に設立された。IFIAR フェラインの 2010 年、2011 年会計年度におけるトレジャラーとしてフランク・シュナイダー（スイス連邦監査監督当局 CEO）が選出された。

次回会合

IFIAR は、スペイン会計監査機関（ICAC）の招待により、次回全体会合を 2010 年 9 月 27 日から 29 日にマドリッドで開催する。